

館報

生涯学習だより

生涯学習社会づくりを
目指します。

- ① ふるさとに**学ぶ**教育(学びあい)
- ② ふるさとに**生きる**教育(育ちあい)
- ③ ふるさとと人々に**尽くす**教育(尽くしあい)
- ④ ふるさとを**創造する**教育(造りあい)

〒789-0313 長岡郡大豊町川口2055-1 れいほく21世紀センター
TEL (0887) 72-1121 FAX (0887) 72-1166

●編集発行 大豊町教育委員会 生涯学習課

NO.

7

平成13年3月31日



天坪地区複合集会所

大豊町教育委員会

公民館コーナー

平成12年度に地区公民館が実施した各行事について、公民館長から報告がありましたものを紹介します。大変お忙しい中、それぞれの地区公民館で特徴を出して頑張っている様子がこの紙面からおわかりいただけるかと思います。

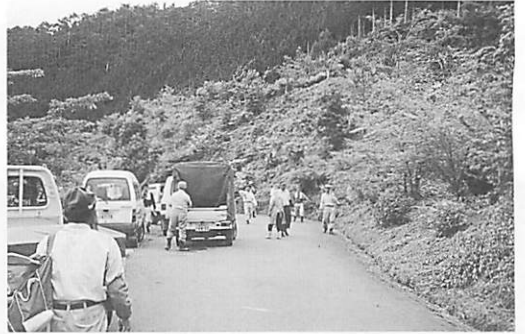
西峰地区公民館

館長 永森 信良

京柱峠下刈り 平成12年6月25日(日)

恒例の事業として毎年桜、ツツジ及びシャクナゲの下刈りを地区民の奉仕作業として、今年も50名余りの出席を得、6月25日に行いました。この桜の植樹は、昭和60年に記念樹として、地元及び各方面の方々のご厚意によって1,000本余の植樹がなされ現在に至っているところですが、その間、桜特有の病気の発生や風による被害等予想もしなかった障害が発生し、定着が思わしくなく、専門家の指導を受け、施肥、病虫害の駆除、支柱杭、補植として土地に適合した山桜を植え替え等あらゆる方法を講じております。

このたび、平成12年度緑化推進コミュニティ助成事業の指定を受けて、この地に「おんツツジ」500株の植樹を計画し、現在苗木500株を確保、峠に仮植しており、雪解けの3月を待って定植し、名実ともに西峰のシンボル「花の里」となることを願っております。



西峰地区運動会 平成12年11月12日(日)

例年西峰小中学校の児童生徒と楽しい有意義な合同運動会を行っていましたが、今年から学校が

休校となり、また、高齢化ということも手伝って、運動会の実施も危ぶまれていましたが、この時世に屈することなく、「地区民一同一致協力して、融和を図り、お互いに頑張ろう」を合い言葉に例年のとおり運動会を実施し、

午前の部をグラウンドで競技運動会、午後の部を公民館にて昼食をともにしながらカラオケ等を交えた親睦運動会として、150名余りの参加を得て、和気あいあいのもと、日頃の仕事から解放され、歌や踊りで秋の一日を楽しく過ごしました。



東豊永地区公民館

館長 重森 一宗

写真教室 平成12年7月3日(月)～

写真撮影は自分一人で、また、家族、友人と好きな時にゆっくり楽しめる利点があり、今回「写真教室」を発足しました。

会員25名の大半が初心者で、経験のある会員達から基礎知識等を学び、機材等の自慢や作品の誹謗は絶対せず、とにかくカメラに親しみ、気楽に参加し「日常生活や風景等、心に残る思いでの一瞬にシャッターをきってみよう」ということを目的にしています。また、定福寺の紅葉や南大王の福寿草の撮影会も行い、各々の感じるまま、写真に納めました。



白馬岳登山・八方尾根トレッキング 平成12年8月4日(金)～8月6日(日)

茹だるような暑さの中の登山となりました。白馬大雪溪に到着し、アイゼンを装着する頃には、冷蔵庫の中にあるような冷たい風が白い霧を引き連れてきました。その風は山の上から下へ幾度となく吹いて、雪溪の脇に咲く小さな可憐な花たちが私たちを出迎えてくれました。

7合目近くのガレ場で横に走る雷を伴った激しい雨に遭い、登山道が小川になるなか、約1時間も靴を濡らして無口に進む人、合羽を脱ぐのに石に座ってすぐには動けない人、しかし、全員が協力しあって登りました。山小屋に着く頃には晴天となり、正面に北アルプスの山々の雄姿や眼下には大雪溪が広がり、抜けるような青空、山々の緑、白い雪溪と色とりどりの景色が広がってきました。

そのころ、雪溪で引き返し八方尾根トレッキング組は、激しい雷と雨を八方の温泉に浸かりながら聞いていました。

この登山を通じて2泊3日(1車中泊)の短い期間でも、同じ目的で寝食を共にしたことは、今後の公民館活動はもとより日常生活での集落間の協調に活かせると思いました。



小学校に図書の新着 平成12年9月1日(金)～

「新図詳エリア教科事典全11巻」及び「新定版学研の英語図鑑全6巻」を東豊永小学校へ寄贈し、生徒や先生方に大変喜んでいただきました。



金婚者及び敬老祝賀会 平成12年9月15日(金)

金婚式を迎えられたご夫婦を祝福し、記念品を贈呈するとともに高齢者を敬う祝賀会を開催した。

若い者達が金婚者から半世紀に亘る結婚生活で、また高齢者達からは永い経験で培った話に杯を交わしながら拝聴した。

また、今年も元気で再会できた喜びをかみしめながら、舞踏やカラオケで楽しい一日を過ごした。



東豊永地区校下民運動会 平成12年10月22日(日)

地区民が相集い親睦を深め、健康増進を図り、秋の一日をお互いが楽しく愉快地に過ごすことを目的として、今年で23回目となる運動会を約300名の参加のもと実施した。

天候にも恵まれ、地区民一同が笑いの中で和気あいあいと親睦を深め、楽しい秋の一日を過ごした。地区民の一致協力で実施できたこの運動会を通じて、今後の集落間の強調が深まった。



豊永地区公民館

館長 小笠原 哲浩

豊永地区盆踊り 平成12年8月16日(水)

駅前から商店街をよさこい踊りでパレードを行い、ゲートボール場にて盆踊り、抽選会を行いました。今年は、中国人女性の参加があり、また婦人会、子供会による出店等もあり約350名の参加者のもと、意義ある盆踊りとなりました。



豊永地区民運動会 平成12年10月15日(日)

地区民約180名の参加で、2チームに分かれて開催しました。今年は、(株)オートヨで研修中の中国の方たちも参加してくださり、一層盛り上がりました。また、昼食は婦人会が作った「ちらし寿司」と「ソーメン」を参加者全員が食べ、お互いの交流を深め、秋の一日楽しいひとときを過ごしました。



岩原地区公民館

館長 三谷 幸一郎

登山大会 平成12年10月29日(日)

今までの活動としては、運動会のみであったが、今年から年に2～3回程度登山をすることになり、第1回目として東祖谷山村の「三嶺」に行くこととし、13名の参加で日頃の運動不足解消を兼ねて楽しく、秋の紅葉を満喫しながら行って来ました。

当日は、吉野川でラフティングを行っているモンベルの野田由美さんを登山のインストラクターとして来ていただき、アドバイスを受けながら行いました。

登山は初めての人が多く、四国で一番美しい山「三嶺」の良さに魅せられ感動したことでした。次回からはもっと参加人数を増やして、恒例の行事としていきたいと思っています。



大砂子地区公民館

館長 都築 正光

東部地区運動会 平成12年10月22日(日)

岩原・大砂子地区公民館合同による運動会を東部地区グラウンドで開催しました。

同地区は参加人数が余り多くないが、当日は、ベトナム人10名位の参加があり、大変賑やかに盛り上がりのある運動会となり、参加人数が多ければ良いものとは限らないと痛感しました。

納涼薬師祭り 平成12年8月5日(土)

大田口校下民のご協力と高知市で活躍している郷土出身者の会「大豊クラブ」のご支援で、納涼薬師祭りは28回を迎えることができました。事業内容は、「盆踊り」「カラオケ大会」「抽選付きうちわ」「花火大会」で、地域あげての楽しい納涼の一日に町内外から多数の方々の参加がありました。

今年は、建設省四国地方建設局土佐国道工事事務所の道路を守る環境美化月間の協賛によるウナギのつかみ取りも行いました。

**大田口校下民運動会 平成12年10月15日(日)**

「家庭ぐるみ、地域ぐるみのスポーツの振興」を目指し、元気な身体づくりと校下の人々の親睦と連帯意識を高め、地域づくりの基盤とすることを目的として、30回目となる校下民運動会は、14集落の皆様の参加があり、6チームで22種目を競い合いました。

**大杉地区民大運動会 平成12年11月5日(日)**

大杉地区を赤、白、青、桃の4チームに分け、地区民大運動会を開催しました。

ペタンクなどの新しい種目も行い、体力や運動能力に関係なく、誰でも気軽に参加できるようにプログラムを組みました。

運動会終了後は、もち投げも行い、地域の人たちの親睦と交流の場となりました。



立川番所花見会 平成12年5月4日(木)

かつて、「ゆとりすと養成事業」で植え付けたシャクナゲや久留米ツツジがきれいな花を咲かせています。これは、除草や施肥そして剪定と時期に応じた作業を年間を通して継続的に実施しているからです。作業の時にいつも皆の口から出るのは「草取りばかりでなく、花見をしたいね」だった。

満開の花を横目で眺めながら何年間思い、言い続けてきたことだろう。やっと念願が叶っての花見だった。

正に花の命は短くて、なので機敏に対応しなければならない。開花の時期を観察しながら日時の連絡だけにして、料理は持ち寄り、飲み物だけ公民館の負担とした。

苦あれば楽あり、「花見ができるぞ」の目に見えた役得ができた。これで作業の辛さも少しは軽くなると思います。

**立川番所周辺整備事業 平成12年4月5日 7月25日 9月7日 11月10日**

土佐ミズキ、シャクナゲ、ツツジ、紫陽花等の除草や施肥、剪定と時期に応じた作業を継続して実施している。

作業の設定方法は、山仕事を少し早めに切り上げて参加できる時間から開始して、日没までとしている。夏場なら2時間の作業を2回することによって半日分の作業量が消化できる。仕事帰りに立ち寄って一気に取りかかるので、時間の割には効率よく進む。

一日とか半日とかの作業でないので、特別にそのための日時を割り振らなくても良いという気軽さから回数を多く作業のセットをしても負担に感じない。

メンバーは公民館関係者だけでなく、御殿茶屋を営業している方達、立川御殿保存会の方達、そして周辺の方達と広く呼びかけて、集まっていたいている。

歴史の道ハイキング 平成12年10月29日(日)

「参勤交代道の北山越えを歩きたい」という希望に沿って計画した。旧立川番所から笹ヶ峰の土予国境まで急峻な山道に挑んだ。公民館の行事を知って、地元の立川御殿保存会が動いてくれた。道の整備ができていない。茅が生い茂って容易に歩けないとルートに沿って草刈りをセットしてくださった。その日に一足早く作業開始となり、その後を歩くという形となった。

毎日歩いているので自信があるといった人が途中で音を上げてしまった。平坦な道と坂道との使う筋肉の違い、ペースの違いと予想を超えたのだろう。「これはハイキングじゃあない登山じゃあ、案内は嘘を書いちょる」とぼやきが出てきた。引き返すにもままならず、苦しい思い出となってしまった。しかし、峠へたどり着いたときの達成感は爽快だった。

作業の方々と峠で合流してお弁当となった。

帰りは、車の人と並行している県道を約10km歩く人と体力に応じて選択した。

**川口小学校周辺美化作業 平成12年6月4日(日) 9月10日(日)**

従来、川口小学校PTAのみで行われていたのであるが、昨年から公民館も協力して川口小学校及びその周辺地域の草刈り等を6月と9月の2回実施した。

学校周辺が美化され、運動会等の行事が楽しくできるようになったが、高速道の作業道についての草刈り等は、地区内の人たちだけでは難しくなりつつある。

川口地区敬老会 平成12年9月15日(金)

川口小学校体育館に多数の来賓、川口小学校教職員、地区住民等が集い、川口小学校児童による劇やマジックショー、婦人部によるハンドベル演奏等を行い、盛況のなか楽しい一日を過ごしました。

川口小学校大運動会 平成12年10月8日(日)

当日は、小学校関係者だけでなく、中学生、周辺の小学生、地区住民、多数の来賓、高知市内の川口校下出身者、立川地区の方々が参加し、小規模の学校ながら、多数の皆様の協力で盛大に開催された。

久寿軒地区公民館 館長 西岡 丈

久寿軒・北川地区敬老会 平成12年9月15日(金)

婦人会による祝賀会を実施。歌あり、踊りあり、小学生による楽器演奏ありのアトラクションに場内拍手喝采、大爆笑ありと楽しくて愉快な一日をみんなで過ごせ、長寿を祝福することができた。



久寿軒・北川地区民と久寿軒小学校合同運動会 平成12年10月1日(日)

日頃、一同に会する機会の少なくなった地域の方、地域出身者の方に案内状を送り、同窓会となる一面もあった。

児童数2人の小学生が一生懸命競技する姿に盛んな拍手があるとともに、それを支える地区民や応援出場してくれた天坪小学校や大杉中学校の生徒達とが心を一つにして、笑いあり楽しくて愉快な一日をみんなで過ごせ、地域の活性化が図られた。



天坪地区公民館 館長 香川 豊彦

天坪地区合同運動会 平成12年9月17日(日)

地域の子供からお年寄りまでが、この運動会の日だけは気持ちが一つになり、一緒に楽しめるように例年、天坪保育所、天坪小学校及び公民館が実施しています。

誰でも参加できるような競技種目で、日頃の仕事も忘れ、秋の一日を楽しく愉快に過ごすことができました。

本年も昨年同様香美郡地域からの参加があり、交流がなされると共に賑わいをみせた。

PTAコーナー

●土長南国PTA研究大会

平成12年10月28日南国市香南中学校で開催された。34名の参加で分科会では、特色ある取り組みとして大田口小学校PTAから発表された。同校は、山村留学制度を推進し、スウェーデンからの受け入れをし、地域にとけ込んだ活動事例が発表された。



●大豊町PTA研究大会

平成12年11月12日に、天坪小学校にて、町内のPTAが一同に会し研修と親睦を深めた。午前中は、青少年にかかる問題や家庭での対話時間の設け方等の実例を交えての講演。午後は、童心に返ってドッチボール大会で日ごろの運動不足解消。



教室

だよ



書道教室

健康文化講座として、5月～6月にかけて5回にわたり
れいほく21世紀センターで現代書道講座を開きました。

日ごろ、筆をたしなむ事のない私達ですが、少しでも美しい年賀状でも書ければと少ない時間で頑張りました。



ペットボトルロケット飛ばし大会

夏休み期間の8月6日に、親子18名で工作にチャレンジ。
楽しみながら出来栄に期待。いざ発射。技術的な問題で、
発射口が小さすぎてあまり距離がでませんでした。



カヌー教室

午後から、本山町吉野の汗見川で、カヌーの体験をしてアウトドアスポーツを楽しみました。



パソコン教室

6月～7月にかけて6回大杉中と大杉小で開催した。

基礎を学習し、暑中見舞いハガキを作成したり、インターネットの体験をしてパソコンの便利さを自ら経験した。



ちぎり絵教室

6月4日、れいほく21世紀センターで開催しました。

「初夏の彩り」を描くと題し、うちわの制作にチャレンジ。和紙の持つ温もりの良さをちぎり絵は表現します。暖かみのある作品にみんなご満悦。



文化財関連コーナー

古代官道調査保存協議会研修会

平成13年3月5日総合ふれあいセンターで古代官道調査保存協議会(川之江市・新宮村・大豊町)主催で53名の参加で行われました。

当日は、朝倉慶景先生を講師に招き、797年に道が開かれたとされる古代官道について講演された。この道は都と土佐の国を結ぶ重要な街道として利用されルートや駅周辺の様子を詳しく学びました。



民俗芸能大会

11月19日大田口小学校体育館で、大豊町民俗芸能協議会発足10周年記念として開催された。町内8団体による伝統と古式ゆかしい舞や、きらびやかな舞の数々が披露された。会場溢れんばかりの入場者となり、特別出演の津野山神楽も花を添え、盛り立てた。

また、展示部門では、百手の衣装道具や神々の面のパネル展示があった。

これからも各地域に伝わる伝統行事にご協力ご理解の程よろしくお願いします。



国宝豊楽寺薬師堂 屋根葺き替え始まる

15年ぶりに屋根の葺き替え工事が、本年より本格的に始まりました。また、薬師堂は、釈迦如来像の胎内銘によって、近衛天皇の御宇仁平元年（1151年）に再建されたことが明らかになっており、本年で850年を迎える。



文化芸術の祭典

嶺北総合美術展覧会

美術の向上と芸術への創作意欲の高揚を図るため嶺北各地から力作が並んだ。大豊町からは、彫塑工芸の部と書道の部から、みごと特選を受賞された。

大豊町の会期は、11月1日～5日で開催され約百人余りの入場者が芸術の感性を磨いた。

東西南北まわり舞台

第19回中央地区文化推進協議会（14市町村）主催で、中央地区文化交流発表会が平成12年5月28日吾北村中央公民館で開催されました。大豊町文化推進協議会（会長 徳弘秀綱）からは、立川音楽クラブと坂東流舞ゆの之会が舞台部門で出演しました。



大豊町民文化祭

平成12年11月3日 文化祭実行委員会主催により大豊町農工センターで行われ、約350人の入場者で賑わいました。

舞台発表部門では、日ごろの練習の成果を各種団体の舞踊・詩吟・大正琴・民謡・歌謡・郷土芸能・フォークダンス等を披露しました。児童生徒による作文発表やおたのしみ抽選会もあり好評でした。

また、展示部門では小中学校作品展、書道、硬筆、俳句、押し花、写真等の素晴らしい作品がところ狭しと並んでいました。参加くださいました方々ありがとうございました。



嶺北地域交流文化祭

平成12年10月14日～15日に、本山町嶺北高校で開催された。

本町からは、芸能部門で岩原神楽保存会と大田口小学校児童の寺内太刀踊りが、披露された。高校生のみならず地域の方々の協力をいただき林業体験や稲刈り体験、広島県熊野高校との交流をとおり貴重な体験を重ねた。



社会体育

第3回大豊町民ふれあい運動会 平成12年5月28日(日) <大杉農村広場>

なお、第4回大豊町民ふれあい運動会は平成13年5月27日(日)に大杉農村広場で開催される予定ですので、ふるってご参加ください。

優勝 林業者チーム
第2位 公民館チーム
第2位 農業者チーム



第39回嶺北剣道大会 平成12年6月18日(日) <大杉中体育館>

土佐町、本山町、大豊町の3町持ち回りで毎年開催されていますが、今年度は大杉中体育館に嶺北地区の剣士が一堂に集まり、本町からは小学生の部に東豊永少年剣道部、豊永少年剣道部、大田口少年剣道教室、大杉少年剣道クラブ、中学生の部に大豊中剣道部、一般の部に2チームが出場し、個人戦、団体戦とも好成績をあげました。



ソフトボールナイターリーグ <大杉農村広場> 7月17日(月)~

昨今チーム数が減少傾向にある中、今年度は新たに2チーム加わり9チームが参加し約2ヶ月間熱戦が繰り広げられました。

優勝 船戸クラブ(8勝)
準優勝 シルクロード(7勝1敗)
第3位 H2(6勝2敗)

第31回大豊町子ども会ソフトボール大会・ペタンク教室 平成12年8月19日(土) <大杉農村広場>

午前中に行われたソフトボール大会は、豊永子ども会と大杉子ども会2チームの対戦となり豊永子ども会が優勝しました。

午後のペタンク教室は、川口南子ども会と老人クラブ、保護者も加わり、講師の公文武司さん(高知県ペタンク協会)から競技説明を受け、チームにわかれてゲームを楽しみ、交流と親睦を深めました。



県民スポーツフェスティバル 平成12年9月3日～ <春野運動公園他>

本町からは、ゲートボール、クレ射撃、剣道、バレーボールの4種目に約40名が参加し、ゲートボールではBチームが優勝、クレ射撃では西岡仁司さん（本村）が個人スキートの部で第3位になるなど健闘しました。



第28回大豊町スポーツ大会 平成12年10月10日(火)～ <大杉中体育館他>

総合開会式後の柔道、バドミントンをかきわきに、クレ射撃、ゲートボール、バレーボール、ソフトボール、剣道、ソフトバレーボールの8競技で熱戦が繰り広げられました。



剣道錬成大会優勝の大田口少年剣道教室



選手宣誓をする山内喜栄さん(杉)



第21回高知県少年柔道大豊大会 平成12年10月15日(日) <大杉中学校体育館>

県下各地から小学生11チーム、中学生11チーム総勢約400人が一堂に集まり、熱戦が繰り広げられました。大豊町体育会柔道部では、個人小学5年生の部で澤 芽さん（大杉小）が準優勝、同4年生の部で間嶋恵理さん（大杉小）が第3位に輝きました。



第24回県民生涯スポーツ土長地区大会 平成12年10月15日(日) <本山町・土佐町>

ゲートボールに5チーム、ソフトバレーボールに2チームが参加し、ソフトバレーボールでは、女子の部で大杉Lチーム（小笠原昌子さん、小笠原美奈子さん、原亜由美さん、美濃まみさん）が優勝、ミックスの部で大杉Aチーム（下村幸正さん、石川成人さん、藤村桂子さん、秋山静子さん）が準優勝しました。

町民登山 平成12年11月5日(日)

高知国体において、本町で行われる山岳競技（縦走）を多くの人に知ってもらう為に、教育委員会と大豊町国体実行委員会の共催で、東豊永小学校から梶ヶ森まで競技予定コース約9kmを登りました。

また、登山前には、国体選手の背負う15kgのリュックサックの体験や、山岳競技の説明もあり、参加者は熱心に耳を傾けて聞いていました。



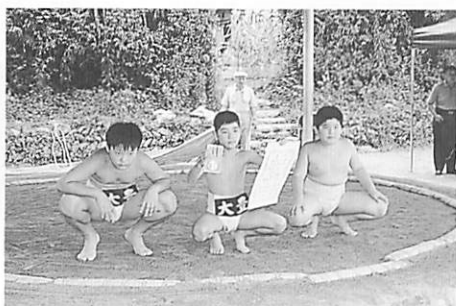
第19回土長地区駅伝競走大会 平成13年3月4日(日) <本山町・土佐町>

前日から降り続いた雨が心配されましたが、当日は晴れ間も見え、本町から男子2チーム、女子1チームが出場し、女子の部1区で秋山由香里さん（東庵谷）、同4区で小笠原美香さん（大杉中）が区間優勝するなど、選手の皆さんは日ごろの練習の成果を十分に発揮しました。



体育会相撲部

第18回土長地区わんぱく相撲大会（7月9日（日）本山小学校）では、秋山大造くん（大杉小）が小学3、4年生の部で準優勝、第20回嶺北チビっ子相撲大豊大会（9月3日（日）大杉農村広場）では、個人小学3年生以下の部で今井陽介くん（大杉小）が、同4年生の部で宮内育大くん（大杉小）が優勝するなど、各大会で活躍しました。



大豊町連合婦人会

各地区会長並びにリーダー研修会 (平成12年5月22日 農工センター)

農工センターにおいて、新年度のリーダー研修会が実施され、高知県連合婦人会田中敏子会長を講師に『地域は私たちのステージ』と題して講演が行われ、その後、体育指導員の三谷まゆみ先生の歌謡体操で気持ちよく身体を動かして、研修会を終了しました。



土砂災害防止月間大豊大会 (平成12年6月9日 大杉農村広場)

大豊町と建設省四国山地砂防工事事務所主催による、土砂災害防止月間大豊大会が行われ、日赤奉仕団として訓練遭難者等の炊き出し（豚汁）と避難訓練へ参加をしました。



ゆとりすとパークボランティア (平成12年7月8日～10月7日 ゆとりすとパーク)

7月～10月の間、ボランティア活動としてゆとりすとパークの、草引き、ハーブ石鹸作り、花の植え替えなどの作業を計3回行いました。



大豊町民文化祭 (平成12年11月3日 農工センター)

大豊小唄、一円玉の旅カラスで踊りに参加し、赤飯、ちらし寿司の販売をしました。



役員研修 (平成13年2月22日～23日 馬路村方面)

組織内容の充実を図り、地域の活性化を目指すとともに少しでも今後の活動に生かせるように、大豊町の特産品でもあるユズで成功した馬路村農協を視察し、またこれからの資源として注目される海洋深層水への理解を深めるため取水施設「アクアファーム」見学をしました。



青年の集い

開講式

(平成12年9月8日 21世紀センター)

過去においては、青年団や、青年教室があり積極的に活動を行っていましたが、現在は消滅しています。しかし、青年が少ないからこそ、まとまって話し合いや意見を反映できる事業が起こせるのではと、本年度から青年層を対象とした『青年の集い』を実施することになり募集したところ、23名の参加があり9月8日午後7時より開講式を行いました。

開講式では、高知県生涯学習研究所長 明神 宏和先生を講師にお迎えし『友情と絆のわだち』と題して講演が行われました。



ラフティング

(平成12年10月8日 吉野川)

9月に予定していたラフティングですが、増水のため10月に実施しました。

吉野川(東土居～大久保) 4kmのコースで少し肌寒い一日でしたが、参加者全員、急流を駆け抜けるスリルと爽快感を体験できました。



交流会・ボウリング大会・親睦会

(平成12年12月16日 鏡村・高知市)

鏡村青年団との交流会を、青年の集い10名、鏡村4名、高知県青年団協議会2名が参加して鏡村文化ステーションRIOで行いました。

その後、青年の集い参加者のボウリング大会・親睦会を行い会員どうしの親睦を深めました。



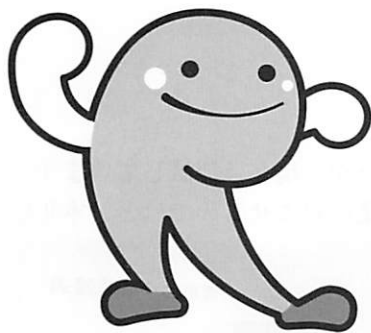
スキー・スノーボード

(平成13年2月10日～11日 鳥取県大山スキー場)

スキー・スノーボードツアーに、7名の参加で大山スキー場へ行きました。

初心者も、経験者も楽しく滑り、一泊二日ということでより一層親睦を深めることができました。





くろしおくん

よさこい 高知国体 コーナー

YOSAKOI
KOCHI KOKUTAI

第1回の国体は

戦後間もない昭和21年（1946年）第1回の国民体育大会が京都を中心に京阪神で開催されました。

第1回大会にバレーボール（当時は9人制屋外でおこなわれた）に参加された選手（大豊町内にお勤め）に当時のお話をうかがうと、高知から汽車に乗り岩原駅を過ぎたあたりで汽車が不通となっており、祖谷川口駅まで線路を歩き、自前のお米をリュックに詰めて会場に向かうという状況でした。

大阪の宿舎は曾根崎小学校の教室の一部を使わせてもらい、練習は上半身裸で行い、一枚のユニホームは試合だけに使ったそうです。

試合はグラウンドで行われるので、連日の雨の中試合当日が天気でうれしかったそうです。試合に勝ったのか負けたのか、どんな試合だったのか今は思い出せないそうですが、そんな状況の中特にうれしかったことは、地区の方にお米を炊いてもらうなどお世話していただいたことと、スポーツができるという喜びだったそうです。

第57回のよさこい高知国体は

高知県で開催される国体は、四国四県が行った昭和28年（1953年）第8回大会以来49年ぶりとなり、一県だけの開催は四国で初めてとなります。

平成14年には県内全市町村において熱戦が展開されることでしょう。

第57回国民体育大会山岳競技会は（吾北村・本川村・大川村・本山町・大豊町・物部村）の各町村の会場で行われ、縦走競技とクライミング競技の2競技で競われます。

大豊町では、縦走競技（成年男子）が梶ヶ森の周囲で行われます。

宿泊する188名の選手・監督を暖かく迎え、競技する選手に声援を送りたいと思います。

町民一人一人が、なにかの形で参加できる国体にしたいですね。



いしん 前進

第57回国民体育大会山岳競技会 (成年男子)日程

平成14年10月

日 (曜日)	25日 (金)	26日 (土)	27日 (日)	28日 (月)	29日 (火)	30日 (水)
行事内容	選手来町	開始式	縦走競技と表彰式	クライミング競技(予選)	クライミング競技(決勝)	山岳競技全体表彰式
場 所	大豊町	本山町	大豊町 梶ヶ森縦走会場	本山町	本山町	本山町

27日に行われるの表彰式は縦走競技スタート会場の東豊永小学校体育館で行う予定です。

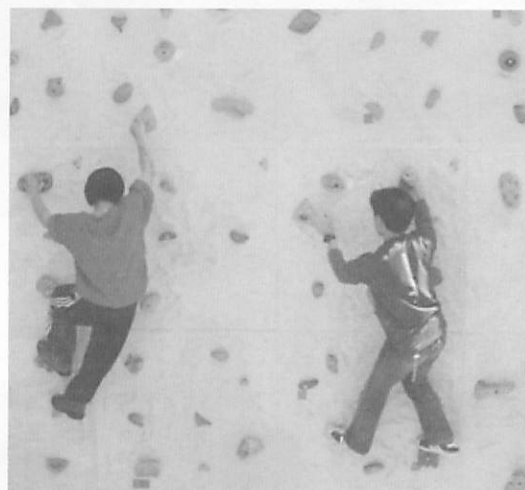
縦走競技とは

簡単にいえばリュックを背負ったの登山マラソンです。47都道府県各2名の選手94人が同時スタートで規定重量の荷物(8~20kg)を背負い、5km以上の距離で、高度差500m以上の山道をいかに速く登るかを競う競技です。



クライミング競技とは

人工壁を「よじ登る」いわゆるクライミング競技です。2人同時に6分間で、どの高さまで登れるかを競うディフィカルト競技(難しさを競う競技)で行われます。成年男子、成年女子、少年男子、少年女子すべて本山町で行われます。少年男子・女子は高知県体から初めての競技となります。



大豊町 人権教育 セミナー

本年度で2回目の開催となる「大豊町人権教育セミナー」を平成13年1月22日から4回にわたって実施しました。

20名の受講者の方々は、同和問題をはじめとする様々な人権問題に対し、講義を受けたり、ワークショップ形式によるディスカッションやビデオ視聴などに参加され、18名が修了証書を受け取りました。なかでも、第2講座の土佐町における現地研修では、伝統産業である「桧笠」づくりやフィールドワークに熱心に取り組んでおられました。

受講者の方々は、講座を通して、人権確立への意欲を高められたことと思われます。



第1講座

1月18日(月)

「くらしのなかの人権について」

第2講座

2月9日(金)

「部落問題を地域から学ぼう」

第3講座

2月20日(火)

「誇りうる部落の歴史」

第4講座

2月26日(月)

「自分自身が部落問題の解決、
人権確立のためにどのように
行動していけばよいか」